

地域調査法 IF

2 units (selection) 2nd-year(1st semester)

Naoto Higuchi · ASSOCIATE PROFESSOR / DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL STUDIES

Target) 社会学において、理論と調査の往復運動は研究上不可欠であるが、講義と調査を架橋する機会は多くない。この講義では、自分が住む地域の多文化状況に関する調査を事例として、地域調査の手順を学んでもらう。具体的には、徳島市におけるモスクとムスリム(イスラーム教徒)を事例として、移民ネットワークや移民による資源動員、エスニック関係に対して質的にアプローチする方法をテーマとする。授業にあたっては、インタビューに必要な問いの立て方、当事者に対するアプローチの仕方、KJ法による議論の整理と仮説構築について、講義と発表形式により身につけていきたい。

Outline) この講義は、地域調査実習Fと連動して行われる。単なる調査方法を教えるだけでなく、それをすぐに具体的な調査で応用してもらおうようになる。

Goal) 社会調査の概要を学び、調査に同行して基礎的な方法を身につける。

Schedule)

1. オリエンテーション
2. 調査目的を考える:何を知るのか? 生活世界の解明とは何か?
3. 調査の方法論:量的調査, 質的調査, 資料収集, 史料にもとづく考証
4. 質的調査で何がわかるか(1):インタビューデータの使い方
5. 質的調査で何がわかるか(2):ライフヒストリー分析の射程
6. 調査方法の選定:個人と集団に対する質的なアプローチ
7. 対象者へのアプローチ方法:ホームページ, 関連文献の収集, データの整理法
8. インタビューの準備:依頼状の書き方, アポイントのとり方, 下調べの仕方
9. インタビューの準備:質問項目の作り方
10. インタビュー実施の注意事項:訪問の仕方, 質問の仕方, メモの取り方
11. インタビュー記録の作成:メモをどの程度とれているか, それをどのように文章にするか, 礼状をどのように書くか
12. インタビュー記録の分析:事前に収集した資料とインタビューの違い, インタビューにより何がわかるのか
13. 予備調査と本調査:予備調査の役割, 本調査に向けた質問票作成
14. 仮説の整理:資料とインタビューからの仮説構築
15. 仮説から質問票へ:KJ法による整理, ワーディングの仕方

Evaluation Criteria) 通常の講義とは異なり、調査実習と連動する授業のため、平常の出席と発表により成績評価する。

Re-evaluation) 再試験は行わない。

Textbook) 佐藤郁哉『フィールドワークの技法』新曜社, 桜井啓子『日本のムス

リム社会』筑摩書房

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218837>

Contact)

⇒ Higuchi (1210, +81-88-656-7200, vyw03403@nifty.ne.jp) MAIL

Note) 平成 25 年度開講